

令和 3 年

福岡県の人口と世帯年報

— 令和 2 年 10 月～令和 3 年 9 月 —

福 岡 県

第1 人口と世帯

1 人口の動向

(1) 総人口

令和3年10月1日現在の総人口は5,123,371人
総人口の52.67%を占める福岡地域

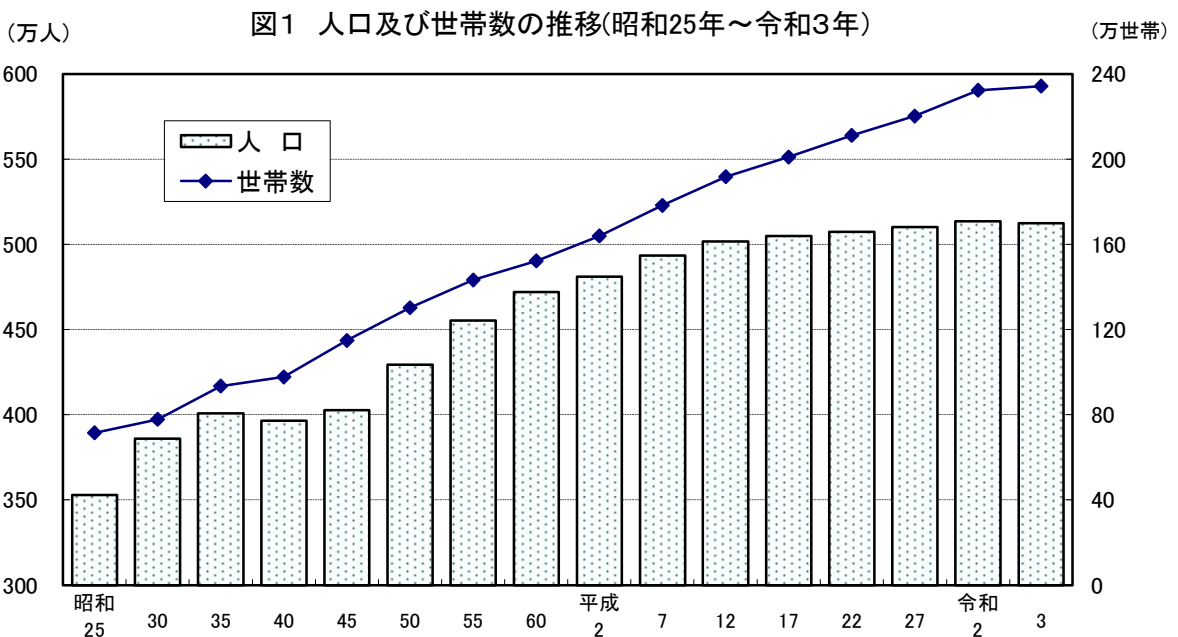
令和3年10月1日現在の福岡県の総人口は5,123,371人で、1年間(令和2年10月1日～令和3年9月30日)に、11,843人(0.23%)減少した。(表1、図1)

人口を男女別にみると、男性は2,425,103人、女性は2,698,268人で、性比(女性100人に対する男性の数)は89.88となり、前年に比べ0.01ポイント低下している。

また、地域別にみると、福岡地域が2,698,543人(総人口の52.67%)で最も多く、以下、北九州地域が1,244,165人(同24.28%)、筑後地域が787,925人(同15.38%)、筑豊地域が392,738人(同7.67%)となっている。(表1)

表1 総人口、構成比、増加数及び増加率

	総人口(人)		構成比(%)		増加数(人)	増加率(%)
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年		
福岡県	5,123,371	5,135,214	100.00	100.00	-11,843	-0.23
(男)	2,425,103	2,430,951	47.33	47.34	-5,848	-0.24
(女)	2,698,268	2,704,263	52.67	52.66	-5,995	-0.22
市	4,525,403	4,534,606	88.33	88.30	-9,203	-0.20
郡	597,968	600,608	11.67	11.70	-2,640	-0.44
福岡地域	2,698,543	2,689,711	52.67	52.38	8,832	0.33
筑後地域	787,925	794,007	15.38	15.46	-6,082	-0.77
筑豊地域	392,738	397,414	7.67	7.74	-4,676	-1.18
北九州地域	1,244,165	1,254,082	24.28	24.42	-9,917	-0.79



(2) 市町村別人口

人口は福岡市がトップ

総人口を市町村別にみると、福岡市（1,619,585人）及び北九州市（931,551人）の2市で福岡県の5割近くを占めており、以下、久留米市（302,095人）、飯塚市（125,505人）春日市（110,772人）の順に続いている。（表2）

表2 人口及び構成比順位(市町村)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,619,585	31.61
2	北九州市	931,551	18.18
3	久留米市	302,095	5.90
4	飯塚市	125,505	2.45
5	春日市	110,772	2.16
6	大牟田市	109,640	2.14
7	筑紫野市	104,154	2.03
8	大野城市	102,264	2.00
9	糸島市	99,737	1.95
10	宗像市	97,029	1.89

(3) 人口密度

人口密度は春日市がトップ

本県の1km²当たりの人口は、1,027.4人となっており、市町村別にみると、春日市が7,828.4人で最も高く、以下、志免町が5,328.9人、福岡市が4,715.5人となっている。（表3）

表3 人口密度順位(市町村)

順位	人口密度(人/km ²)	
1	春日市	7,828.4
2	志免町	5,328.9
3	福岡市	4,715.5
4	大野城市	3,803.0
5	粕屋町	3,434.6
6	水巻町	2,541.1
7	中間市	2,486.2
8	太宰府市	2,467.4
9	北九州市	1,894.5
10	須恵町	1,760.8

2 年齢別人口

進む人口の高齢化

本県人口の平均年齢は47.0歳で、前年(46.7歳)に比べ0.3歳上昇した。

人口を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が656,597人(県人口の13.2%)、生産年齢人口(15～64歳)が2,894,674人(同58.4%)、老年人口(65歳以上)が1,405,740人(同28.4%)となっている。

1年間に、年少人口は5,582人、生産年齢人口は16,679人それぞれ減少したが、老年人口は10,598人増加している。(表4)

また、人口構成比でみると、年少人口は0.08ポイント、生産年齢人口は0.20ポイントそれぞれ減少したのに対し、老年人口は0.28ポイント増加した。

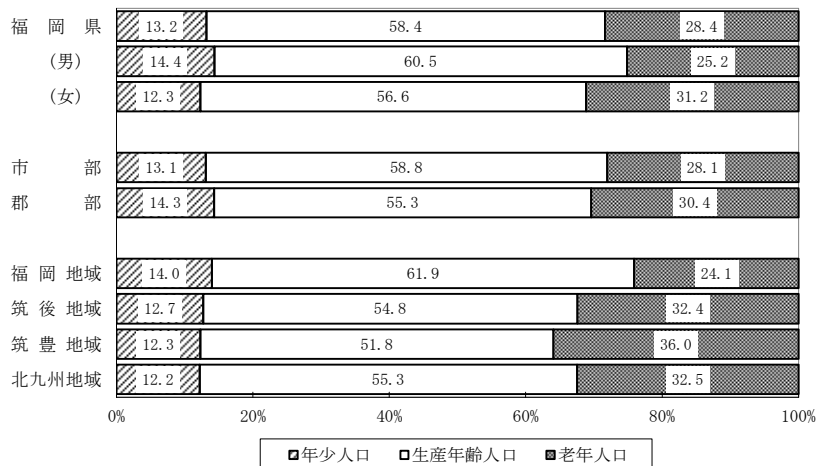
表4 年齢(3区分)別人口(平成12年～令和3年)

年次		令和3年	令和2年	平成27年	平成22年	平成17年	平成12年
人口(人)	総数	5,123,371	5,135,214	5,101,556	5,071,968	5,049,908	5,015,699
	年少人口(0～14歳)	656,597	662,179	676,045	684,124	701,195	742,740
	生産年齢人口(15～64歳)	2,894,674	2,911,353	3,057,855	3,227,932	3,326,610	3,393,080
	老年人口(65歳以上)	1,405,740	1,395,142	1,304,764	1,123,376	997,798	870,290
構成比(%)	年少人口	13.2	13.3	13.4	13.6	14.0	14.8
	生産年齢人口	58.4	58.6	60.7	64.1	66.2	67.8
	老年人口	28.4	28.1	25.9	22.3	19.9	17.4
前年差(人)	年少人口	-5,582	-	-	-	-	-
	生産年齢人口	-16,679	-	-	-	-	-
	老年人口	10,598	-	-	-	-	-

注) 総数には「年齢不詳」を含む。構成比には「年齢不詳」を含まない。
令和2年以前の数値は総務省統計局「国勢調査」による。

地域別にみると、生産年齢人口割合が61.9%と最も高い福岡地域で、老年人口割合が最も低い24.1%となっている。一方、生産年齢人口割合が51.8%と最も低い筑豊地域では、老年人口割合が最も高い36.0%となっており、県内地域間で年齢構造が異なっている。(図2)

図2 年齢(3区分)別人口割合



注) 割合には「年齢不詳」を含まない。

3 世帯の動向

総世帯数は 2,342,722 世帯

令和3年10月1日現在の福岡県の総世帯数は2,342,722世帯で、1年間に19,397世帯、0.83%増加している。

1世帯当たり人員は2.19人で、前回に比べ0.02人減少しており、世帯規模の縮小が続いている。(表5)

表5 世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
福岡県	2,342,722	2,323,325	2.19	2.21
市	2,100,054	2,082,249	2.15	2.18
郡	242,668	241,076	2.46	2.49
福岡地域	1,279,808	1,263,907	2.11	2.13
筑後地域	322,162	319,858	2.45	2.48
筑豊地域	170,451	170,469	2.30	2.33
北九州地域	570,301	569,091	2.18	2.20

世帯数を市町村別にみると、福岡市が841,721世帯(総世帯の35.9%)で最も多く、次いで北九州市の436,887世帯(同18.6%)、久留米市の129,937世帯(同5.5%)と上位3市で世帯全体の約6割を占めている。

1世帯当たり人員をみると、最も多いのは大木町の2.84人で、次いで久山町の2.77人となっており、上位10市町村中6市町が筑後地域となっている。(表6)

表6 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)

順位	世帯数 (世帯)		1世帯当たり人員 (人)	
	市町村	世帯数	市町村	人員
1	福岡市	841,721	大木町	2.84
2	北九州市	436,887	久山町	2.77
3	久留米市	129,937	筑前町	2.76
4	飯塚市	56,136	大刀洗町	2.71
5	大牟田市	48,982	東峰村	2.71
6	春日市	46,747	みやま市	2.70
7	大野城市	43,208	うきは市	2.70
8	筑紫野市	42,601	八女市	2.67
9	宗像市	41,515	宇美町	2.64
10	糸島市	38,746	柳川市	2.63

第2 人口動態

1 人口増加数

1年間に11,843人(0.23%)減少

1年間(令和2年10月1日～令和3年9月30日)の総人口の減少11,843人(-0.23%)の内訳は、自然増加が-17,840人(-0.35%)、社会増加が5,997人(0.12%)となっており、自然減少が社会増加を上回った。

4地域別にみると、1年間に人口が増加したのは福岡地域のみであり、他の地域では人口減少が続いている。(表7, 表8, 図3)

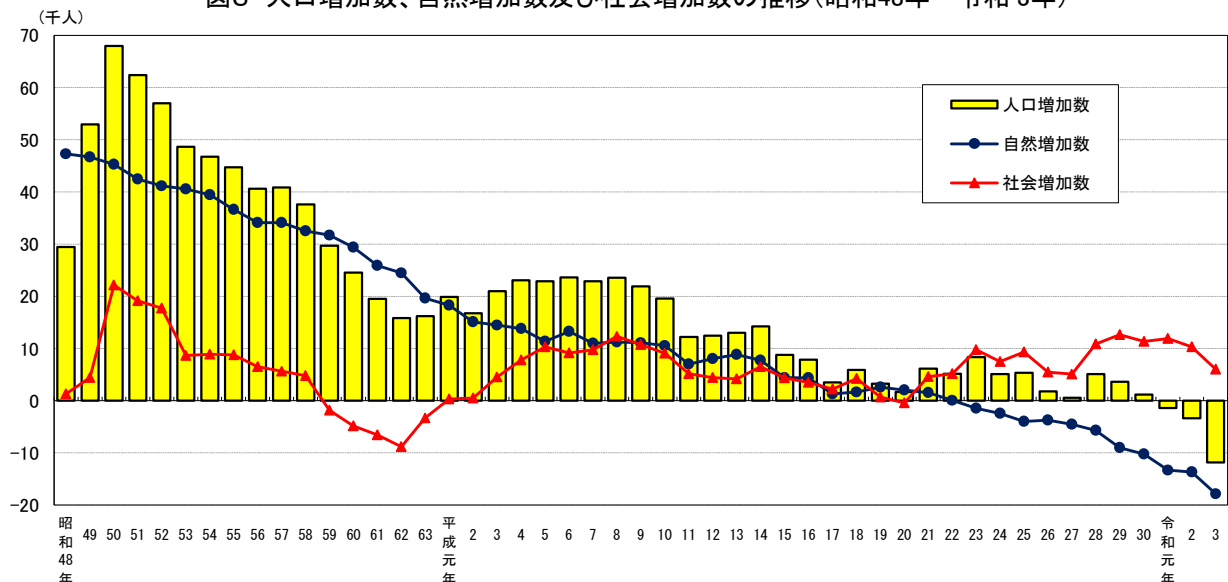
表7 人口増加数、自然増加数及び社会増加数(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

	人口増加数(人)		自然増加数(人)		社会増加数(人)	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
福岡県	-11,843	-3,364	-17,840	-13,667	5,997	10,303
(男)	-5,848	-876	-8,534	-6,427	2,686	5,551
(女)	-5,995	-2,488	-9,306	-7,240	3,311	4,752
市部	-9,203	-1,908	-15,187	-11,393	5,984	9,485
郡部	-2,640	-1,456	-2,653	-2,274	13	818
福岡地域	8,832	14,430	-1,574	305	10,406	14,125
筑後地域	-6,082	-5,208	-4,767	-4,226	-1,315	-982
筑豊地域	-4,676	-4,538	-3,786	-3,268	-890	-1,270
北九州地域	-9,917	-8,048	-7,713	-6,478	-2,204	-1,570

表8 人口増加率、自然増加率及び社会増加率(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

	人口増加率(%)		自然増加率(%)		社会増加率(%)	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
福岡県	-0.23	-0.07	-0.35	-0.27	0.12	0.20
(男)	-0.24	-0.04	-0.35	-0.27	0.11	0.23
(女)	-0.22	-0.09	-0.34	-0.27	0.12	0.18
市部	-0.20	-0.04	-0.33	-0.25	0.13	0.21
郡部	-0.44	-0.24	-0.44	-0.38	0.00	0.14
福岡地域	0.33	0.54	-0.06	0.01	0.39	0.53
筑後地域	-0.77	-0.66	-0.60	-0.53	-0.17	-0.12
筑豊地域	-1.18	-1.13	-0.95	-0.82	-0.22	-0.32
北九州地域	-0.79	-0.64	-0.62	-0.52	-0.18	-0.13

図3 人口増加数、自然増加数及び社会増加数の推移(昭和48年～令和3年)



増加数は福岡市がトップ、増加率は福津市がトップ

人口増加数を市町村別にみると、福岡市が7,193人で最も多く、以下、糸島市が860人、筑紫野市が843人となっている。また、人口増加率では福津市が0.98%と最も高く、以下、糸島市が0.87%、久山町が0.86%となっている。(表9)

表9 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

人口増加数(人)						人口増加率(%)					
順位	令和3年		順位	令和2年		順位	令和3年		順位	令和2年	
1	福岡市	7,193	1	福岡市	9,976	1	福津市	0.98	1	福津市	1.78
2	糸島市	860	2	福津市	1,152	2	糸島市	0.87	2	新宮町	1.10
3	筑紫野市	843	3	大野城市	702	3	久山町	0.86	3	久山町	1.08
4	福津市	656	4	筑紫野市	550	4	筑紫野市	0.82	4	粕屋町	1.01
5	粕屋町	341	5	粕屋町	481	5	粕屋町	0.71	5	大刀洗町	0.81
6	大野城市	179	6	糸島市	419	6	大刀洗町	0.68	6	志免町	0.72
7	筑前町	173	7	新宮町	359	7	筑前町	0.58	7	大野城市	0.69
8	荏田町	128	8	志免町	332	8	福岡市	0.45	8	篠栗町	0.69
9	大刀洗町	105	9	古賀市	250	9	荏田町	0.34	9	福岡市	0.63
10	須恵町	91	10	篠栗町	212	10	遠賀町	0.33	10	筑紫野市	0.54

2 自然増加数

1年間に17,840人(0.35%)減少

1年間の自然増加数は-17,840人(出生者38,061人、死亡者55,901人)で、自然増加率は-0.35%であった。前の1年間に比べると、出生者数は1,857人減少、死亡者数は2,316人増加となった。地域別にみると、全ての地域で減少している。(表10、表11)

表10 自然増加数及び出生・死亡者数(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
福岡県	-17,840	-13,667	38,061	39,918	55,901	53,585
(男)	-8,534	-6,427	19,231	20,389	27,765	26,816
(女)	-9,306	-7,240	18,830	19,529	28,136	26,769
市部	-15,187	-11,393	33,510	35,220	48,697	46,613
郡部	-2,653	-2,274	4,551	4,698	7,204	6,972
福岡地域	-1,574	305	21,609	22,563	23,183	22,258
筑後地域	-4,767	-4,226	5,483	5,810	10,250	10,036
筑豊地域	-3,786	-3,268	2,475	2,692	6,261	5,960
北九州地域	-7,713	-6,478	8,494	8,853	16,207	15,331

表11 自然増加率及び出生・死亡率(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

	自然増加率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
福岡県	-0.35	-0.27	7.41	7.81	10.89	10.49
(男)	-0.35	-0.27	7.91	8.43	11.42	11.09
(女)	-0.34	-0.27	6.96	7.26	10.40	9.95
市部	-0.33	-0.25	7.39	7.81	10.74	10.33
郡部	-0.44	-0.38	7.58	7.86	11.99	11.66
福岡地域	-0.06	0.01	8.03	8.48	8.62	8.36
筑後地域	-0.60	-0.53	6.91	7.32	12.91	12.64
筑豊地域	-0.95	-0.82	6.23	6.72	15.75	14.89
北九州地域	-0.62	-0.52	6.77	7.06	12.92	12.23

出生・死亡者数の推移をみると、出生者数はこのところ減少傾向、死亡者数は増加傾向にある。死亡者数が出生者数を上回った平成23年以降は自然減少が続いている。(図4)

また、市町村別にみると、自然増加数は粕屋町(291人)が最も多く、自然増加率も粕屋町(0.60%)が最も高くなっている。(表12)

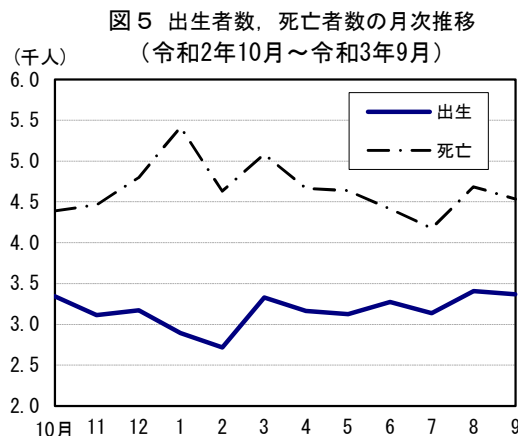
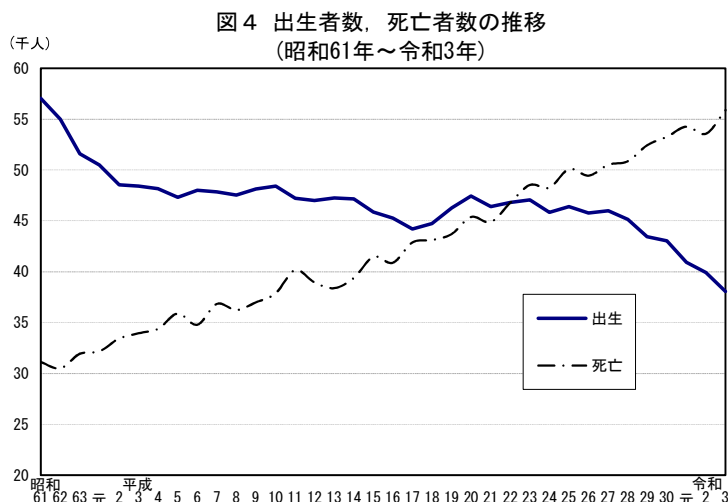


表12 自然増加数及び自然増加率順位(市町村)(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

自然増加数(人)						自然増加率(%)					
順位	令和3年		順位	令和2年		順位	令和3年		順位	令和2年	
1	粕屋町	291	1	福岡市	743	1	粕屋町	0.60	1	粕屋町	0.71
2	大野城市	142	2	粕屋町	336	2	新宮町	0.22	2	新宮町	0.35
3	新宮町	73	3	大野城市	267	3	大野城市	0.14	3	大野城市	0.26
4	福津市	19	4	新宮町	113	4	志免町	0.04	4	志免町	0.14
5	志免町	18	5	春日市	90	5	那珂川市	0.03	5	福津市	0.10
6	那珂川市	17	6	福津市	67	6	篠栗町	0.03	6	春日市	0.08
7	篠栗町	9	7	志免町	66	7	福津市	0.03	7	那珂川市	0.08
8	久山町	-17	8	那珂川市	38	8	福岡市	-0.02	8	福岡市	0.05
9	吉富町	-24	9	篠栗町	-1	9	春日市	-0.03	9	篠栗町	-0.00
10	春日市	-28	10	大刀洗町	-4	10	筑紫野市	-0.07	10	筑紫野市	-0.02

3 社会増加数

1年間に5,997人(0.12%)増加

1年間の社会増加数は5,997人(転入者270,383人, 転出者264,386人)で、社会増加率は0.12%であった。前の1年間に比べると、転入者数は8,192人、転出者数は3,886人それぞれ減少となった。地域別にみると、社会増となったのは福岡地域のみである。(表13, 表14)

表13 社会増加数及び転入・転出者数(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
福岡県	5,997	10,303	270,383	278,575	264,386	268,272
(男)	2,686	5,551	140,652	146,387	137,966	140,836
(女)	3,311	4,752	129,731	132,188	126,420	127,436
市部	5,984	9,485	242,661	248,967	236,677	239,482
郡部	13	818	27,722	29,608	27,709	28,790
福岡地域	10,406	14,125	173,400	177,933	162,994	163,808
筑後地域	-1,315	-982	28,136	29,389	29,451	30,371
筑豊地域	-890	-1,270	14,112	13,955	15,002	15,225
北九州地域	-2,204	-1,570	54,735	57,298	56,939	58,868

表14 社会増加率及び転入・転出率(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

	社会増加率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
福岡県	0.12	0.20	5.27	5.45	5.15	5.25
(男)	0.11	0.23	5.79	6.05	5.68	5.82
(女)	0.12	0.18	4.80	4.91	4.67	4.73
市	0.13	0.21	5.35	5.52	5.22	5.31
郡	0.00	0.14	4.62	4.95	4.61	4.81
福岡地域	0.39	0.53	6.45	6.68	6.06	6.15
筑後地域	-0.17	-0.12	3.54	3.70	3.71	3.82
筑豊地域	-0.22	-0.32	3.55	3.49	3.77	3.80
北九州地域	-0.18	-0.13	4.36	4.57	4.54	4.70

転入・転出者数の推移をみると、ここ数年増加傾向にあったが、令和2年以降大幅に減少している。(図6)

また、市町村別にみると、社会増加数は福岡市(7,511人)が最も多く、社会増加率は糸島市(1.26%)が最も高くなっている。(表15)

図6 転入者数、転出者数の推移
(昭和61年～令和3年)

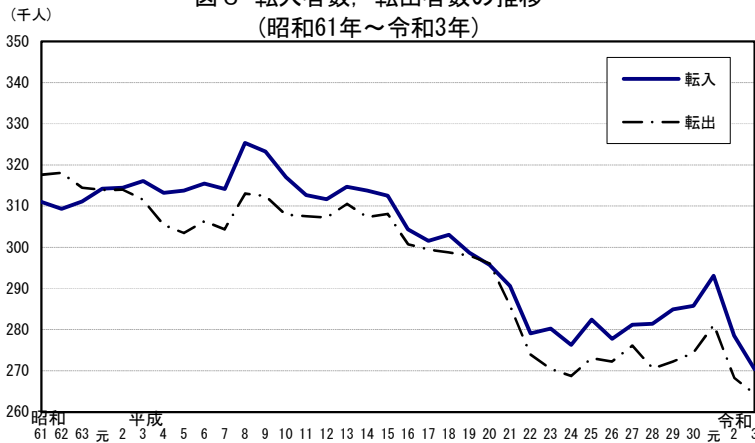


図7 転入者数、転出者数の月次推移
(令和2年10月～令和3年9月)

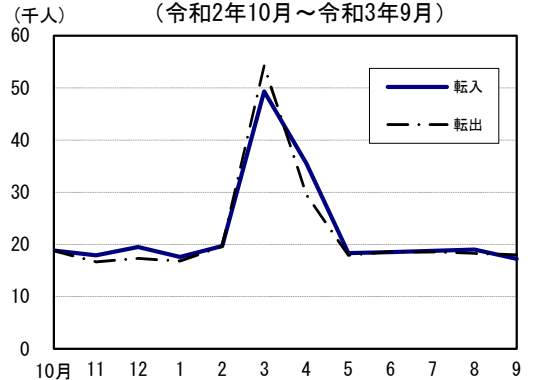


表15 社会増加数及び社会増加率順位(市町村)(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

社会増加数(人)						社会増加率(%)					
順位	令和3年		順位	令和2年		順位	令和3年		順位	令和2年	
	1	福岡市		7,511	1		福岡市	9,233		1	糸島市
2	糸島市	1,244	2	福津市	1,085	2	久山町	1.05	2	久山町	1.36
3	筑紫野市	912	3	糸島市	775	3	福津市	0.95	3	大刀洗町	0.83
4	福津市	637	4	筑紫野市	566	4	筑前町	0.91	4	筑前町	0.80
5	筑前町	270	5	大野城市	435	5	筑紫野市	0.88	5	糸島市	0.79
6	小郡市	261	6	久留米市	353	6	大刀洗町	0.86	6	新宮町	0.75
7	宗像市	247	7	宗像市	314	7	遠賀町	0.79	7	篠栗町	0.69
8	荏田町	168	8	古賀市	290	8	大任町	0.56	8	須恵町	0.64
9	岡垣町	151	9	志免町	266	9	須恵町	0.49	9	福岡市	0.58
10	遠賀町	148	10	新宮町	246	10	岡垣町	0.49	10	志免町	0.58

4 移動者の状況

表16 県内・県外移動者数の推移（平成6年～令和3年）

(1) 移動者数の状況

移動者数は 369,122 人

1年間の移動者数をみると、県内移動者（県内各市町村からの転入者）が156,971人、県外移動者（県外からの転入者と県外への転出者の合計）が212,151人で、これらを合わせた移動者総数は369,122人となっている。（表16）

移動者数を年齢（5歳階級）別にみると、20～24歳の76,678人（構成比20.8%）が最も多く、以下、25～29歳の66,674人（同18.1%）、30～34歳の44,098人（同11.9%）の順となっている。（表17）

年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
平成6年	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137
13	432,980	181,348	127,573	124,059
14	431,674	178,242	129,510	123,922
15	429,967	180,176	126,537	123,254
16	420,844	173,240	125,160	122,444
17	417,847	172,006	123,672	122,169
18	418,073	172,691	124,058	121,324
19	415,146	170,805	121,761	122,580
20	411,048	170,474	119,677	120,897
21	401,922	165,509	119,162	117,251
22	383,159	161,737	112,472	108,950
23	384,594	159,548	116,958	108,088
24	379,510	156,175	115,427	107,908
25	382,882	159,416	117,138	106,328
26	378,946	158,763	113,565	106,618
27	384,539	160,226	115,432	108,881
28	382,799	157,261	117,918	107,620
29	389,256	156,729	123,502	109,025
30	392,728	157,090	125,196	110,442
令和元年	403,629	160,460	129,236	113,933
2	378,122	157,442	116,669	104,011
3	369,122	156,971	110,379	101,772

注）平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表17 年齢(5歳階級)別移動者数(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

年齢階級	移動者				転入者			転出者		
	総数	構成比(%)	県内移動(a)	県外移動(b)+(c)	総数	県内(a)	県外(b)	総数	県内	県外(c)
総数	369,122	100.0	156,971	212,151	270,383	156,971	110,379	264,386	157,475	101,772
0～4	22,948	6.2	11,141	11,807	17,401	11,141	6,082	17,133	11,183	5,725
5～9	11,103	3.0	4,535	6,568	8,133	4,535	3,528	7,680	4,545	3,040
10～14	5,913	1.6	2,415	3,498	4,332	2,415	1,870	4,103	2,416	1,628
15～19	23,515	6.4	6,730	16,785	16,836	6,730	9,953	13,727	6,796	6,832
20～24	76,678	20.8	26,428	50,250	52,654	26,428	25,638	52,400	26,586	24,612
25～29	66,674	18.1	29,114	37,560	47,971	29,114	18,384	49,574	29,189	19,176
30～34	44,098	11.9	20,629	23,469	32,930	20,629	12,016	32,808	20,666	11,453
35～39	30,301	8.2	13,755	16,546	22,634	13,755	8,661	22,059	13,781	7,885
40～44	20,339	5.5	8,944	11,395	15,058	8,944	5,943	14,696	8,958	5,452
45～49	17,251	4.7	7,393	9,858	12,704	7,393	5,133	12,330	7,390	4,725
50～54	13,219	3.6	5,505	7,714	9,776	5,505	4,125	9,254	5,508	3,589
55～59	9,731	2.6	4,286	5,445	7,388	4,286	2,974	6,915	4,294	2,471
60～64	6,981	1.9	3,461	3,520	5,488	3,461	1,909	5,205	3,477	1,611
65～69	5,116	1.4	2,816	2,300	4,174	2,816	1,264	3,961	2,817	1,036
70～74	4,428	1.2	2,692	1,736	3,687	2,692	910	3,594	2,706	826
75～79	2,898	0.8	1,864	1,034	2,438	1,864	529	2,412	1,865	505
80～84	2,950	0.8	1,868	1,082	2,449	1,868	562	2,416	1,877	520
85～89	2,847	0.8	1,884	963	2,437	1,884	540	2,327	1,901	423
90～94	1,620	0.4	1,130	490	1,434	1,130	288	1,343	1,135	202
95～99	449	0.1	329	120	399	329	62	394	334	58
100歳以上	63	0.0	52	11	60	52	8	54	51	3
不詳	0	0.0	0	0	0	0	0	1	0	0

注1）転入者及び転出者の総数には、新旧住所地不明者及び職権記載者、消除者を含む。

注2）県内転入者と県内転出者は本来一致するものであるが、届出時期の関係等で一致しないため、
県内転入者＝県内移動者としている

(2) 県内移動

1年間の県内移動者数は156,971人となっている。年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の29,114人(構成比18.5%)が最も多く、以下、20～24歳の26,428人(同16.8%)、30～34歳の20,629人(同13.1%)と続いている。(表17)

県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者が99,438人と最も多く、次いで北九州地域の33,306人、筑後地域の14,355人、筑豊地域の9,872人となっている。地域間移動をみると同一域内以外では、筑後地域から福岡地域への移動が44.3%と最も高くなっている。(表18)

表18 県内地域間移動(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

		移動先住所別県内移動者数(人)					移動先住所別割合(%)				
		県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域
従前住所地	県計	156,971	99,438	14,355	9,872	33,306	100.0	63.3	9.1	6.3	21.2
	福岡地域	95,633	81,093	5,824	2,396	6,320	100.0	84.8	6.1	2.5	6.6
	筑後地域	15,279	6,776	7,322	307	874	100.0	44.3	47.9	2.0	5.7
	筑豊地域	10,731	3,117	368	5,244	2,002	100.0	29.0	3.4	48.9	18.7
	北九州地域	35,328	8,452	841	1,925	24,110	100.0	23.9	2.4	5.4	68.2

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。

(3) 県外移動

1年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は212,151人となっている。このうち、転入者が110,379人、転出者が101,772人で、8,607人の転入超過となっている。

また県外移動者の地域別構成比をみると、最も高い福岡地域の64.2%に対し、最も低い筑豊地域では3.7%となっている。(表19)

年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の50,250人(構成比23.7%)が最も多く、以下、25～29歳の37,560人(同17.7%)、30～34歳の23,469人(11.1%)と続いている。(表17)

表19 地域別県外移動者数及び構成比
(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

	県外移動者数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
福岡県	212,151	100.0	110,379	100.0	101,772	100.0
市部	194,692	91.8	101,719	92.2	92,973	91.4
郡部	17,459	8.2	8,660	7.8	8,799	8.6
福岡地域	136,115	64.2	72,249	65.5	63,866	62.8
筑後地域	26,929	12.7	13,404	12.1	13,525	13.3
筑豊地域	7,891	3.7	3,988	3.6	3,903	3.8
北九州地域	41,216	19.4	20,738	18.8	20,478	20.1

(4) 住所地別にみた県外転入・県外転出

転入者、転出者共に東京都が最多

住所地別に県外からの転入者の内訳をみると、最も多いのは東京都からの転入で110,379人、次いで長崎県の8,775人、国外の8,525人の順となっており、県外への転出先の内訳では、東京都の13,993人、熊本県の7,770人、佐賀県の6,550人の順となっている。(表20、表21)

**表20 従前住所地別県外転入者順位
(令和2年10月1日～令和3年9月30日)**

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	110,379	100.0
1	東京都	11,676	10.6
2	長崎県	8,775	7.9
3	国外	8,525	7.7
4	熊本県	8,238	7.5
5	佐賀県	7,288	6.6
6	大分県	6,781	6.1
7	鹿児島県	5,769	5.2
8	大阪府	5,686	5.2
9	山口県	5,108	4.6
10	神奈川県	4,982	4.5

**表21 移動後住所地別県外転出者順位
(令和2年10月1日～令和3年9月30日)**

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	101,772	100.0
1	東京都	13,993	13.7
2	熊本県	7,770	7.6
3	佐賀県	6,550	6.4
4	大阪府	6,411	6.3
5	長崎県	5,825	5.7
6	神奈川県	5,680	5.6
7	大分県	5,669	5.6
8	国外	5,547	5.5
9	鹿児島県	4,517	4.4
10	愛知県	3,755	3.7

筑後地域、北九州地域で顕著な隣接県との移動

住所地別転出入を地域別にみると、県外からの転入者は、福岡地域では東京都の8,776人、筑後地域では佐賀県の1,814人、筑豊地域では国外の361人、北九州地域では山口県の2,170人が最も多くなっている。(表22)

県外への転出者は、福岡地域では東京都の9,970人、筑後地域で佐賀県の1,945人、筑豊地域では東京都の463人、北九州地域では東京都の2,225人が最も多くなっている。(表23)

4地域とも九州各県や東京都、国外からの移動が多いが、特に筑後地域の佐賀県や熊本県、北九州地域の山口県や大分県など、その地域と隣接する県との間の移動が多くなっている。

表22 地域別転入者の従前の住所地順位(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)
1	東京都	8,776	佐賀県	1,814	国外	361	山口県	2,170
2	長崎県	6,574	熊本県	1,646	東京都	335	大分県	1,793
3	熊本県	5,338	国外	1,365	長崎県	283	東京都	1,601
4	国外	5,226	東京都	964	大分県	273	国外	1,573
5	佐賀県	4,622	長崎県	865	熊本県	231	長崎県	1,053
6	鹿児島県	4,188	大分県	818	佐賀県	216	熊本県	1,023
7	大阪府	3,964	神奈川県	649	大阪府	212	大阪府	982
8	大分県	3,897	鹿児島県	631	山口県	174	神奈川県	896
9	神奈川県	3,294	大阪府	528	愛知県	169	広島県	858
10	宮崎県	2,618	宮崎県	444	鹿児島県	146	愛知県	808

表23 地域別転出者の移動後住所地順位(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)
1	東京都	9,970	佐賀県	1,945	東京都	463	東京都	2,225
2	熊本県	4,748	熊本県	1,759	国 外	296	大分県	1,764
3	大阪府	4,421	東京都	1,335	大分県	264	山口県	1,430
4	長崎県	4,156	国 外	783	大阪府	245	国 外	1,274
5	神奈川県	3,717	長崎県	726	熊本県	244	神奈川県	1,198
6	佐賀県	3,699	大分県	658	佐賀県	199	大阪府	1,169
7	国 外	3,194	神奈川県	582	山口県	185	熊本県	1,019
8	鹿児島県	3,167	大阪府	576	長崎県	184	愛知県	830
9	大分県	2,983	宮崎県	435	神奈川県	183	鹿児島県	783
10	愛知県	2,348	鹿児島県	430	愛知県	175	長崎県	759